

練二通信

No. 410

令和3年5月31日

練馬第二小学校

校長 濱中 一

三つの「ふれあい」実践

校長 濱中 一

六月は、東京都教育委員会いじめ総合対策の中で、年三回定められた『ふれあい月間』の一回目です。練二小は、「いじめを絶対に許さない」という基本方針の下に、四月から三月までの全ての月を『ふれあい月間』にとらえ、年間を通して三つの「ふれあい」を実践しています。

【一つ目の実践 いじめ防止】

いじめが起きていないか実態を把握するために、ふれあい月間に行う年三回の「いじめアンケート」以外にも、練二小では一〜二か月に一度、学校独自の「いじめアンケート」を行っています。また、スクールカウンセラーやこころのふれあい相談員による全員面接、担任との面談を行い、苦しさを抱える子供たちに寄り添う取組をしています。

そして実態把握の他に、いじめの未然防止のためには、段階を追って子供たちの意識を高めなければなりません。

①「いじめはいけないと理解する」段階。いじめにまだ触れていない低学年や、他者をあまり意識していない子には、いじめはいけないことだとしっかりと理解させます。②「いじめをしない・させない」段階。自分が加害者である自覚がないまま相手を追い込んでいる場合もあります。客観的に自分の行動を考えられるようにならなければなりません。また、いじめている友達を同じ場で見ていること自体もいじめであると理解させなければなりません。③「いじめを止めようとする」段階。加害者の友達への行為を、勇気を出して止められる子供にしなければなりません。正しいことは「正しい」と言えるようにしなければなりません。道徳授業、学級指導、日常のトラブル解決場面での指導などを通して、いじめに対する正しい心の子供たちに育てていきます。繰り返し、根気強く何度で

も指導をしていきます。

【二つ目の実践 子供同士のふれあい】

練二小では、「うやむや」「きもい」「死ね」「消えろ」の四つの言葉を禁止しています。話すことも、書くことも、SNSで使うことも、影でコソコソ言うことも絶対禁止です。「この位ならいいだろう」の緩い気持ちは、やがていじめの芽となります。設定して三年目の禁止言葉、校内では浸透してきた雰囲気、放課後やSNSでの会話などでも徹底し、完全に撲滅できるように、引き続き指導していきます。

【三つ目の実践 子供と教師のふれあい】

学校では、苦しい時、子供は教師に頼るしかありません。教師は、子供にとっでいつでも安心して相談できる相手であるべきです。練二小の全教職員は、毎日一人一人の子供たちと会話をし、微妙な心の変化にも気付く感性を磨き続けます。

子供たちにとっての一番の相談者は保護者。そして、練二小の全教職員は、少しでも保護者の皆様に近づけるよう、子供たちに信頼され、安心して相談される存在でありたいと思います。

「いじめはなぐすことができる」「いじめはなくならない」の議論は不毛です。大切なのは「いじめを絶対に許さない」決意です。練二小はいじめを絶対に許しません。

五月の朝会より

○気持ちのよい「五月（さつき）晴れ」と言いたい、「さつき」は旧暦の五月で、今の六月。五月雨（さみだれ）は梅雨のこと。本当の五月晴れは梅雨の合間の晴れのこと。調べるとおもしろい。

○五月二十五日は開校記念日。練二小七十八歳の誕生日。これまで練二小を支えてくださった地域の皆様に感謝。

○今年最大の満月の日は皆既月食。太陽、地球、月の位置関係で、東京では月の全部がすっぽり地球の影にかくれて暗くなる。興味がある人は詳しく調べてみよう。晴れて全部が見られますように。

★今月の生活目標

健康安全に気をつけよう

★週の生活目標

- ・外に出てたくさん人と遊ぶ
- ・雨のときの室内遊びを工夫する

六月の行事予定

- 3 (木) 新体力テスト
- 4 (金) 交通安全教室 (四年)
- 5 (土) 土曜授業日 (公開無し)
- 9 (水) 研究授業 (三年) ※対象学年以外は午前授業
- 10 (木) 環境学習 (四年)
- 11 (金) 尿検査予備日
- 16 (水) 午前授業
- 17 (木) 歯科検診 (二・四・六年) 午前授業
- 21 (月) 一年生五時間授業始 水泳指導始
- 23 (水) B時程五時間
- 24 (木) 歯垢染色 (四・六年) 避難訓練 (風水害)
- 30 (水) 研究授業 (五年) ※対象学年以外は午前授業

学年遠足（校内お弁当タイム）

特別活動部

四月三〇日に三、四年生の学年遠足を行いました。（低学年は残念ながら悪天候のため遠足は中止となりました。）

今年度は、新型コロナウイルスの影響で公共交通機関を使用できないため、往復徒歩で区立夏の雲公園へ行ってきました。公園では、「だるまさんがころんだ」や自然観察など、各学級で事前に計画した過ごし方で初夏の清々しい季節を満喫しました。休日等に家族でお出かけすることもある身近な公園ですが、学級や学年と一緒に遊ぶことで普段とはまた違う楽しい時間になったことと思います。

また、今回は新型コロナウイルスの状況を考え、公園ではなく学校に戻ってからお弁当を食べることにしました。遠足に行けなかった低学年の子供たちも、その日は教室でのお弁当タイムを楽しみました。お弁当箱を開けた瞬間、みんなにこにこ笑顔になっていました。保護者の皆様には、朝早くからお弁当をご用意いただきありがとうございます。

今後も、社会の状況に応じて工夫をしながら学校行事に取り組んでいきたいと思えます。



高学年になって！

五年担任

四月六日の始業式から約二か月が経ちました。

クラス替えがあり、少し緊張ぎみに過ごしていた子供たちも、少しずつ新しいクラスに慣れ、笑顔で活動できるようになってきました。

昨年度に続き、新型コロナウイルスの影響で、感染防止に気を使ったり、突如の予定変更を強いられたりして、大変な日々ではありますが、「高学年としてがんばろう！」という気持ちで、難しい学習や委員会活動などに取り組んでいます。

中学年との違いは、「学校全体の仕事をし、練二小を支える」「自覚と責任をもって、自分から進んで取り組む」「見通しをもって考え、よりよい判断をする」ということです。

中学年の学習や生活から一段ステップアップして、下級生のお手本になれるような行動を心がけ、最高学年に向けてレベルアップしてほしいと思っています。

六月は、総合的な学習の時間に「田植え」をして、稲を育てていきます。子供たちの成長と稲の生長、共に楽しみます。



学校農園・学年園を活用して

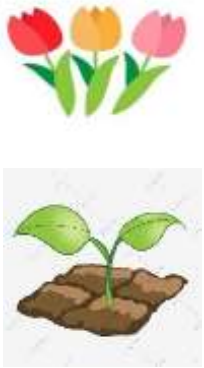
二年担任

本校では、地域の方のご厚意により、学校農園として畑をお借りしています。その農園を活用して、毎年一、二年生がサツマイモを、さらに二年生は練馬大根を栽培しています。

今年度は、五月十一日（火）に、学校農園に行き、サツマイモの苗を植えてきました。学校農園では、畑を貸してくださっている農家の方が、マルチを敷き、支柱を立てて苗を植えやすいように準備してくださっていました。子供たちは、支柱を抜いた穴に苗を奥まで丁寧に植えていました。そして最後に農家の方にお礼を言っていました。

また、教室前の学校園では、ミニトマト、ピーマン、ナス、キュウリ、オクラの夏野菜を育てます。小さな野菜の苗がこの後、どんなふうになくなっていくのか、どんな花を咲かせるのか楽しみにしながら世話をしていきます。

野菜の生長を観察し収穫をする活動を通して、食への関心が高まることを期待しています。そして、自然の恵みに感謝し、毎日の食事の大切さを感じてほしいと思っています。



「楽しい」と思える

算数の学習を目指して

算数少人数担当

算数少人数指導とは、各クラスよりも少ない人数で授業を行うことで、より個に応じた指導を行い、学習の理解を深める助けとなる取り組みです。練二小では「ぐんぐん」「すくすく」「のびのび」の三コースに分かれ、日々学習を行っています。どのコースの児童も高いやる気をもって学習に取り組んでいます。

算数も積み重ねがとても重要な教科です。一年生での基本の足し算、引き算から始まり、二年生ではかけ算・九九、三年生で割り算を学習し、四年生で九九より大きな数の割り算を新たに学習します。基本的な四則計算だけでも四年間を費やします。それだけ難しく、積み重ねが必要だということです。

算数が苦手だと感じる児童も少なくありません。そんな児童が算数を嫌いにならないよう、毎日ある算数が苦痛にならないよう、「楽しい」と思える算数の学習を心がけ、取り組んでおります。楽しさの継続のためにも、ご家庭での自習を行っていただけると幸いです。

